

[展示1] 刀の部

番号	種別	銘	刃長(寸分)	国・時代等
1	上古刀	古墳出土直刀(百濟式茎)	83.6(2・7・6)	出土地不明 古墳時代(5C)
2	上古刀	古墳出土立鼓柄横刀 <small>りゅうこづかかたな</small>	48.6(1・6・0)	伝・陸奥国一関 奈良時代(6C)
3	太刀	(無銘)伝・舞草	91.5(3・0・2)	陸奥国一関地方 鎌倉～南北朝期
4	太刀	保存刀剣鑑定 (無銘)宝寿	82.8(2・7・3)	陸奥国一関地方 南北朝～室町期
5	刀	保存刀剣鑑定 (金象嵌銘)了戒	73.0(2・4・0)	山城国 鎌倉時代
6	刀	保存刀剣鑑定 (無銘)正中一文字	69.0(2・2・7)	備前国岩戸庄 鎌倉時代(正中)
7	刀	保存刀剣鑑定 (無銘)宇多友次	63.8(2・1・1)	越中国 南北朝時代
8	太刀拵	特別貴重刀剣認定 藤嶋(藤嶋友重) 龍野藩主・輪違紋武家太刀拵	75.4(2・4・9) 全長104cm	加賀国 室町時代(応永)
9	刀	保存刀剣鑑定 (無銘)文珠重国	67.0(2・2・1)	紀伊国 江戸時代(寛文)
10	刀	特別貴重刀剣認定 一関土源宗明	64.4(2・1・3)	陸奥国一関 江戸時代(文久)
11	刀	保存刀剣鑑定・「刀剣美術」七月号掲載 藤原国法造之 安政三年七月吉日	69.7(2・3・0)	陸奥国水沢 江戸時代(安政)
12	脇差	奥州仙台住藤原国包(十三代) 安政四歳二月日	45.2(1・5・0)	陸前国仙台 江戸時代(安政)
13	脇差	秀一作(宮川秀一)	33.0(1・0・8)	陸奥国二子通 江戸時代(安政)
14	小砲	鉄車付鑄鉄くりぬき型 丸十字紋先込式大筒・鉄弾丸	口径:60mm 全長:60cm	薩摩国 江戸時代～明治

注:○所有者の希望により所有者名の表示を省略いたします。

○時代等の説明は主催者の主観によります。

[展示2] 石川啄木直筆作品

番号	仕立	作品名	時代・大きさ
15	掛軸・書	はたらけど 々 猶我が生活 楽にならざり ぢっと手を見る 啄木	揮毫年不明 143×27
16	掛軸・書	頬につたふ 涙のごはず 一握の 砂を示しし 人を忘れず 啄木	揮毫年不明 95×20
17	掛軸・書	富みて奢らず 利に走らず 貧しきはこれを助け 自らは名を求めず その高風まことにうるわし この主夫妻 今年金婚式というに寄せて この庭の 松の緑と 五十年 於無腸館 啄木	(推定) 明治39年 185×41
18	油絵	(仮題)「十和田湖」:(表・自署)啄木、 (裏・自署)十和田村デ 石川一 明治四十年	明治40年 P8号
19	掛軸・短冊	ある日の歌 友がみな 我よりえらく 見ゆる日よ 花を買いきて 妻としたしむ 啄木	揮毫年不明 164×32
20	掛軸・書	(特別展示) 宮崎郁雨・書「啄木の歌」 かなしきは 小樽の町よ 歌うこと なき人々の 声の荒さよ 啄木 遺友 郁雨しるす	揮毫年不明 140×33

(注) 啄木作品の直筆根拠は、奥州文庫独自の調査・判断に基づきます。

写真撮影・ネット投稿 OK!

(お願い) ケガ防止のため手にとっての鑑賞は行っておりません。

手指の切断・脱落破損等のおそれがありますので、展示品には絶対に手を触れないようお願いいたします。

☆休憩コーナー(縁側)もご自由にお使いください。